

製粉振興 平成23年(No.529~540) 目次

月別	巻頭言(題名)	解説、レポート、随想、ソフト&ハード	執筆者
		題名	
1		我が国の食料品市場は今後どうなっていくのか —穀類、特に小麦二次加工品に焦点をあてて— 第95回AACC International年次大会 製粉と小麦粉のお国ぶり —その13— ハンガリー 小麦粉のある風景 「おもてなしパン」	薬師寺哲郎 本松謙治 長尾精一 ひらのあさか
2	平成23年の課題 について	23年産国内産小麦の取引 オーストラリアにおける小麦の生産と輸出の動向 —変動の激しい生産量と国際市場への対応— まだまだ、泡とおいしさ	満留幸男 玉井哲也 畑江敬子
3	外国産小麦の政府 売渡価格の引 上げと今後の課 題	日本版CIA設立構想 ～「食文化」政策の展開方向と教育について～ バイオ燃料原料農産物の需要拡大が小麦需給に与える 影響 即席めんを巡る情勢 辛子明太子とカニ風味かまぼこ 小麦粉のある風景 「お好み焼き」の仲間・その2	末松広行 小泉達治 任田耕一 藤木正一 ひらのあさか
4	東日本大震災に ついて考える	「USDA(米国農務省)2020年農業見通し」の概要(小麦) 「アメリカ人のための食事ガイドライン2010年版」につ いて 製粉と小麦粉のお国ぶり —その14— カナダ	上林篤幸 長尾精一 〃
5	輸入小麦の安定 供給について考 える	「農林水産業における温室効果ガスの削減対策等につ いて」 乾めんには「旬」がある —だから7月7日七夕は「そうめんの日」— さらに、泡とおいしさ 小麦粉のある風景 タルトフランベとケーキサレ	高橋建朗 安藤剛久 畑江敬子 ひらのあさか
6	平成24年産国内 産小麦の流通と 今後の課題	24年産国内産小麦の取引の仕組み わが国の製粉振興にむけて —東日本大震災からの教訓— 一つの危機管理(キャノーラ誕生)	満留幸男 三石誠司 藤木正一

月別	巻頭言(題名)	解説、レポート、随想、ソフト&ハード	執筆者
		題 名	
7	平成24年産小麦の販売予定数量及び購入希望数量について	平成22年産内麦の品質試験結果について FAPRIによる世界の農産物需給予測の概要 ～世界小麦需給予測を中心に～ 製粉と小麦粉のお国ぶり ―その15― ロ シ ア 小麦粉のある風景 簡単おいしい「省エネめん」	廣 橋 知 幸 小 泉 達 治 長 尾 精 一 ひらの あさか
8	「規制・制度改革に係る追加方針」の閣議決定について	北海道産小麦のサプライチェーンにおける需要拡大に向けた課題 食品表示制度の機能向上と課題 しつこく泡とおいしさ	吉 田 行 郷 池 戸 重 信 畑 江 敬 子
9	外国産小麦の政府売渡価格決定を受けて	東日本大震災と食料・農林水産業 ～一刻も早い復興に向けて～ めん類外食の動向 甘味の毀誉褒貶 小麦粉のある風景 パン粉活用術	末 松 広 行 亀 島 亮 松 崎 俊 藤 木 正 一 ひらの あさか
10	平成25年産に向けた民間流通麦の課題について	北海道小麦品種「きたほなみ」から暖地小麦品種への高製粉性の導入 製粉と小麦粉のお国ぶり ―その16― メ キ シ コ	藤 田 雅 也 長 尾 精 一
11	製粉産業の抱えている課題について	24年産国内産小麦の入札取引について 麦制度の改正による港湾業務の現状と課題 (本船の大型船化による諸問題) フード・コミュニケーション・プロジェクト(FCP)について もっと泡とおいしさ 小麦粉のある風景 フランスパンはおいしい	満 留 幸 男 深 尾 祐 一 食料産業局企画課 畑 江 敬 子 ひらの あさか
12	平成23年を振り返って	―「OECD-FAO 農業見通し2011-2020」の概要(穀物関係部分)― 穀物相場の今後の行方 大規模小売業者による優越的地位の濫用行為への対応について ―「平成22年度 食品産業における取引慣行の実態調査報告書」から― 異性化糖って？	上 林 篤 幸 李 雪 連 清 水 仁 志 藤 木 正 一